

ひこぎ便 №76

2026・1月特定非営利活動法人無料塾ひこぎ

子どもが抱えている問題

報道では小中学生の不登校が35万人、より痛ましいのは小中学生の自殺者が 500名を超えるということです。

街の中を歩いていると多くの学習塾が並びます。掲示板にはテスト対策、点数アップ、難関校への合格者数などの塾の宣伝が並びます。多くの小中学生が通っています。経済的な理由、健康、塾の雰囲気になじめないなどの理由によって塾に行けず寂しい気持ちの子もいることでしょう。そのような子どもに助けになればとの思いから10年ほど前に「無料塾ひこぎ」を開設しました。当初は数学、国語、英語などの学力の向上が目標でした。しかし大学生と小中学生が一对一で向き合っ話し合ううちに、父親や母親との関係、兄弟姉妹との関係、友人関係、学校の規則など生活上の様々な問題で相談されるようになりました。

毎月の事務局会議では日常の連絡事項の打ち合わせで終わってしまいます。

小中学生一人一人の様子をより詳しく知る目的で、学習支援に当たっている大学生と会場の準備・清掃、軽食の準備をしているスタッフの懇親会を開催しました。さりげなく学習し、遊んでいる小中学生が実は深刻な生活条件を身にまといながら生活していることが分かりました。一つ一つの事例について真剣に相談にのって欲しいと思います。完全な解決に至らなくても、大学生のお兄さん、お姉さんに相談にのってもらったという経験は社会で生きて行く上できっと大きな支えになることでしょう。

大学生にしても、スタッフにしても、また無料塾ひこぎそのものにしても、地道な活動を続けていきたいと思います。

(理事 石川巖)

お知らせ

- 現在「ひこぎ」は学生スタッフ人数や教室の広さの状況が対応範囲を超えており3月まで入塾を待って頂いています。3月以降の入塾であれば見学は随時お受けいたします。
- 2. 3月はひこぎらず。(学生ボランティア)は大学が春休みとなりますので、参加者の減少がありグループでの学習や自習になる場合がありますがご理解ください。

ひこざライン

ひこざクリスマスイベント～ビンゴ・クイズ大会～

12月14日(日)にクリスマスイベントを開催しました！ツリー・リース作りや、バラエティ豊かなクイズ大会で大盛り上がり。イベント係・福田さんの感想もあわせてぜひご覧ください！

ビンゴクイズ大会を終えて (イベント係 2年 福田勇人)

今回のビンゴクイズ大会では、生徒たちの意外な一面に驚かされるようなことは特になく、いつも通り元気な皆さんの楽しそうな姿が見れてうれしかったです！

一番の収穫は、クイズビンゴを通じて、ひこざの子どもたちや大学生と一緒に、楽しい時間を共有できたことです。クイズの正解、不正解に一喜一憂したり、チーム全員で難問に首をかしげたりと、参加して下さった皆さんの素直な反応にとても癒されました。また、景品を巡る熱狂の中で、学年を超えた交流が生まれたことも印象的でした。

この活気ある雰囲気のまま、これからの活動も、楽しむ時にはみんなで全力で楽しんで、勉強する時にはじっくりと学ぶ、メリハリを大切に子どもたちと過ごして行きたいです！



あけましておめでとうございます！

ホームページのリニューアルがよかったのか、昨年は多くの見学や入塾申し込みを頂きました。現在38名の塾生と約50名のボランティアスタッフでひこざは活動しています。学校ではオンライン化が進みひこざでもPCやタブレット等の端末を用意し自由に使っていましたが、最近はYouTubeをみたりゲームをするのが楽しくて学習への切り替えが難しくなってきたので極力使わないようにしています。交流にはトランプやボードゲーム、おしゃべりしたり「ひこざ」の仲間とコミュニケーションが楽しめることを考えていきたいです。「今年もどうぞよろしく願いいたします。」 令和8年1月 ひこざ 森本



みんなの広場



「近隣住民のひとりごと」

木曾大原(木曾農園)

わたしは埼玉大学在学中に旧さいだい交流ひろば(かつてワングル部が建てたログハウスを引き継いで大学と地域をつなぐ目的で設置されたボランティアセンターのような学生の溜まり場のような場所)で一応学生スタッフをやっていたのですが、その時に、森本さんや地域の方々が無料塾を作る?!ということで、向かいの赤い小屋を掃除することになり、手伝わされた(笑)思い出があります。のちに交流ひろばで「ひこざらす。」というひこざの活動を担う学生サークルができ、ミーティングをしていたのですが、わたしは活動するみなさんを横目で見ていただけの無関心な学生でした…

今回森本さんから、コドモギルドとコラボしている活動のことを書いてほしいとお願いされたので、そのことについて書かせていただきます。コドモギルドはさいたま市の不登校の子どもたちの居場所づくりを行っており、交流ひろばで学生たちと近所のお母さんたちで立ち上げた団体です。コドモギルドの活動のひとつにコドモ農業大学という活動があり、昨年までは上尾の農家のもとで活動していましたが、より多様な農的な活動をしたいということでひこざスタッフでもあった代表理事の青木君から相談されたのがきっかけでした。

今年度からわたしと、近所で田んぼ体験などを行っている安部さんで受け入れることになり、これまでピザ生地のためのお米と具材となる野菜を栽培し、ピザ窯を作り、そして来月にはピザを作る予定です。コドモ農業大学の活動を通して気づいたことが2つあります。1つはほとんどの子どもたちは学校に通い教室で学ぶことが一般的ですが、コドモ農業大学の活動は地域そのものが彼らにとっての「学校」のような気がしています。地域で暮らし働いているわたしや安部さんたちから学ぶということは、教室で教師から知識を伝達されることとは異なる、リアリティのある学びであるといえます。2つ目は、農業のなかに人間が「生きる力」が詰まっており、人間が育っていくために必要な内容が詰まっているのではないかという発見です。学習指導要領のなかで「生きる力」が大事ということが言われていますが、食料を自分たちで作る、自然のなかの循環を経験していく、その過程に都市化していく社会のなかにおいてますます失われつつある人間が「生きる力」が育まれる可能性があるように思います。

コドモギルドのコンセプトは「平日昼間をもっと楽しく面白く！」というのですが、子どもたちを受け入れ始めてから、わたしと同世代の(働き盛りの?)若者が平日昼間に地域にいないことに気がつきました。ほとんどの大人は会社などの職場に通勤しており、地域に根差して働くことが少なくなっています。かつて子どもたちは地域の中で働く大人たちの仕事を手伝いながら、かかわり見て学び、おのずと大人像を思い描き「大人になる」ことができました。現在の子どもの大人になることや働くことへのイメージはどのようなものなのだろうか。少なくともわたしは積極的に大人になりたい、働きたいと思うことができない子どもでした(ずっと子どものままでいたいと)。

学校に行かない子どもたちが平日昼間に地域で大人たちと出会い学ぶことは、子どもたちにとって大切な機会なのではないかとコドモ農業大学の活動を始めて思い始めました。まだまだ学校に通うことが当たり前の社会ですが、地域に根差した自由な教育を大事にしている方々とこれからも協力していきたいと思っています。

一般社団法人 TRIGGER

**コープみらい財団
「くらしと地域づくり助成」**

上記の皆様は令和7年度活動をご支援いただいています。ありがとうございます。

編集後記

夏の暑さからは一転して、寒さが厳しい季節になりました。寒さは苦手ですが、白くなる息や冬の澄んだ空気が私はとても好きです。皆さんは新年の目標を決めたでしょうか。私は、目標は達成することだけに意味があるのではなく、それにむかって努力することにも十分意味があると思います。生活の中で目標を立てる機会は多くありますが、全てを完璧には達成するというのはなかなか難しいものです。達成できなかったときには、自分を責めるのではなく頑張った自分を褒め、次はどんな目標を立てるかなど前向きな生活につなげていければいいなと思います。

(ひこざ便係 2年 谷山遥)

無料塾「ひこざ」：〒338-0825 さいたま市桜区下大久保816 (埼玉大学前)

Tel・fax: 048-628-3932

(火・金の 16:00～20:00のみ)

新ホームページ

Mail: info@hikoza2014.com

HP: www.hikoza2014.com

ホームページQR

